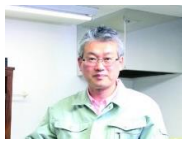


熱海リノベーションまちづくり構想検討委員会

2016.6.14

委員



佐藤 秀幸

サトウ椿株式会社 代表取締役



原 英之

熱海交通自動車株式会社 代表取締役



吉田 耕之助

株式会社 つるや



桐谷 美智子

野中山マンション



山本 進

妙楽湯 店主



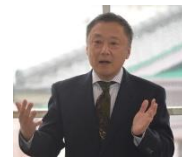
水野 綾子

株式会社クリエイターエージェント 執行役員
富西寺



内田 宗一郎

古屋旅館 専務取締役
旅館組合青年部部長・熱海市観光協会 副会長



駒嶺 洋

大成館 代表取締役
南熱海網代温泉旅館協同組合 理事長



竹内 昌義

建築家 みかんぐみ共同主宰 東北芸術工科大学 教授 1962年神奈川県生まれ
東京工業大学工学部建築学科卒業 同大学院修士課程修了。1995年みかんぐみ共同設立。2000年より東北芸術工科大学デザイン工学部助教授。2008年より同教授。「未来の住宅 カーボンニュートラルハウスの教科書」や山形エコハウスの設計に関わり、環境やエネルギーの調和を目指しエコハウスの普及、啓発に努める。代表作 最上町の老人ホーム、伊那東小学校、愛・地球博ヨタグループ館(いずれもみかんぐみ)、ハウスMなど。



大島 芳彦

株式会社ブルースタジオ専務取締役 クリエイティブディレクター 建築家 1970年東京都生まれ
大手組織設計事務所勤務を経て2000年、ブルースタジオにて遊休不動産の再生流通活性化をテーマとした、「リノベーション」事業を開始。その活動域は建築設計にとどまらず企画、コンサルティング、グラフィックデザイン、不動産仲介管理など多岐にわたる。団地再生など都市スケールの再生プロジェクトを手掛ける一方、個別の物件探しからはじめる中古住宅のワンストップリノベーションサービスを展開。



江口 亨

横浜国立大学 都市イノベーション研究院 准教授 1978年埼玉県生まれ
2008年東京大学大学院博士課程修了 博士(工学)。専門は建築構法、建築生産。研究テーマは、コンバージョンやインフィル改修などのストック活用に関する方法論、工業化住宅の構法史など。今ある建物を長く使うため、建築関連の産業がストック型へと移行していく中で豊かな生活を送るために、誰がどんな仕事をしていくのか、どのような専門家が求められているのか、という視点から研究を行っている。



大久保 あかね

常葉大学 経営学部 経営学科 教授 1963年名古屋生まれ
奈良女子大学文学部卒業後株式会社リクルート入社、退職後熱海に転居して1996年から旅行情報誌じゃらの熱海担当に。1998年立教大学観光学研究科博士課程前期課程に一期生として社会人入学、後期課程に進み2003年博士号取得。2006年より富士常葉大学(現:常葉大学)に在職。



市来 広一郎

株式会社machimori代表取締役 NPO法人 atamista(アタミスタ)代表理事1979年、熱海生まれ熱海育ち
東京都立大学大学院 理学研究科(物理学)修了後、アジア・ヨーロッパを3カ月、一人で放浪。その後、IBMビジネスコンサルティングサービスに勤務。のちにNPO法人の社会起業・政策学校である一新塾へ加わる。2007年に熱海にUターンし、まちに活気を取り戻そうとゼロから地域づくりに取り組み始める。2012年に空き店舗を再生しCAFE RoCAを、2015年には「guest house MARUYA」をオープンし運営するなど、熱海のリノベーションまちづくりに取り組んでいる。



委員会座長 清水 義次

建築・都市・地域再生プロデューサー/株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役
/3331アーツ千代田代表/一般社団法人公民連携事業機構代表理事 1949年生まれ
東京大学工学部都市工学科卒業 マーケティング・コンサルタント会社を経て、1992年株式会社アフタヌーンソサエティ設立。都市生活者の潜在意識の変化に根ざした建築のプロデュース、プロジェクトマネジメント、都市・地域再生プロデュースを行う。主なプロジェクトとして、北九州市小倉家守プロジェクト、岩手県紫波町オガールプロジェクトなど、民間のみならず公共の遊休不動産を活用しエリア価値を向上させるリノベーションまちづくり事業をプロデュースしている。